



図書館だより 8月号



オススメの新着図書

【一般向け】

『猫と罰』

宇津木 健太郎／著 新潮社



かつて漱石と暮らした黒猫は、何度も生と死を繰り返し、ついに最後の命を授かった。魔女を称する女店主が営む古書店へと迷い込み…。

【一般向け】

『赤と青のガウン』

彬子女王／著 PHP 研究所



古代ケルト史を学ぶ日々、女王陛下とのお茶会…。女性皇族として初めて海外で博士号を取得した彬子女王のオックスフォード留学報告。

【一般向け】

『がん闘病日記』

森永 卓郎／著 三五館シンシャ



いつ死んでも悔いのないよう生きてきたし、今もそうして生きているという著者が、治療法の選択、がんとお金、死生観などについて語る。

【児童向け】

『待ってる!甲子園』

日比野 恭三／著 ポプラ社



全国初の単独チームで甲子園に挑戦する、東京都立青鳥特別支援学校ベースボール部。知的障がいのある高校球児たちの挑戦を追う!

【児童向け】

『ようこそじごくへ』

広松 由希子/作 100%ORANGE/絵 玉川大学出版部

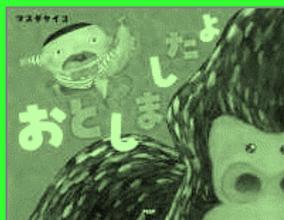


生きているときに悪いことをすると、死んだら地獄に落ちる?昔から伝わる絵巻から想像を膨らませ、地獄をめぐる、地獄とは何かを考える絵本。

【児童向け】

『おとしましたよ』

マスダ ケイコ/作・絵 PHP 研究所



どうぶつたちが、つぎからつぎへとおとしもの!あれれ、これはだれのおとしもの?親切の輪がぐるぐるめぐり…。ユーモラスな絵本♪